

希望の大空へ

横浜市立豊田小学校

「校長先生に、

ぜひ

見て欲しいものが

あるんです。」

(4年の学級担任の先生)

それは、
学級の児童が、
土曜日、
本郷台駅前の
「あーすぶらざ」に

友達3人と
行った時のことを
書いたノートでした。

そのノートには、
学校で

ユニセフ募金をしたので、
もっと調べてみよう

「あーすぶらざ」に

行ったことが
書かれていました。

世界中の国々の 栄養状態を示す

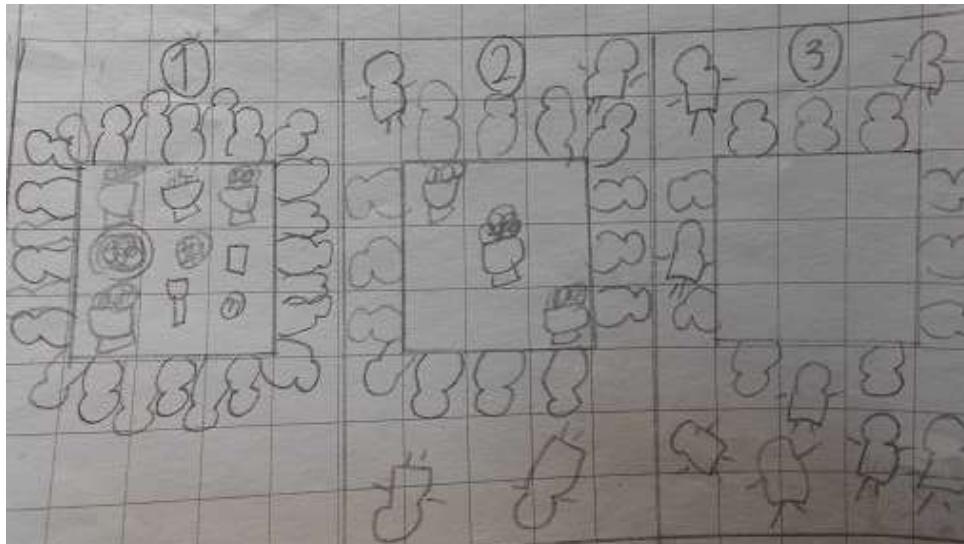
SDGs のコーナーで、
ガイドさんに教わりながら、



SDGs（エス・ディー・ジーズ）は「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2015年の国連総会で採択され、2030年の達成を目指す世界目標。17の大きな目標と169の具体策で構成されている。

どの国が大変なのかを
比較しながら、

学ぶことができたことなどが、
イラスト付きで
しっかりと書かれていました。



そして、
ノートの最後には、

「ユニセフ募金をして、

たくさんの人達に
会えなくても

気持ちが届いて欲しい。」

「そして、
大人になつたら、
看護師になつて、
少しでも
多くの人を救つて
ボランティアも
してみたい。」と

書かれていたのでした。



希望とともににつくりだす
横浜市立豊田小学校

校長室に届いた手紙

「世界のための夢」
4年児童

私は、
だれも
苦しまない

世界中の人が、
笑顔で
幸せな生活を送れるように
私は願っています。

今、自分が
大人になっていたら、
コロナウイルスが
はやっているので、
もし、大人だったら、
すぐに患者に対応して
誰もが苦しまなく
させたいです。

私は
このままでは、
オリンピック・
パラリンピックが
心配です。

校長室に届いた手紙

4年



横浜市立豊田小学校

校長先生！

私は、
お父さんから
このような話を聞きました。

(4年児童)

お父さんが、
アフリカへ行った時のこと。

タクシーに
乗っているとき、

一人の子どもが
タクシーの窓の前で、

「食べ物が欲しい」と
手を出しました。

けれども、
タクシーに乗っている
時なので、

お父さんは、
食べ物を
あげられませんでした。

私は、

その時、

「そう像」しました。

「私が、
リュックサックに

食べ物を
つめこんで、

アフリカに行ったら」と。

アフリカの
人たちは、

どんな顔をしながら、

「食べ物が欲しい」と
言うだろう。

もう、
たぶん、

泣きながら、
声も出ず、

ひたすら
食べ物をせがむだろうと。

私は、

人間が
苦しむのを

見たくはないと
思いました。

そのために

行動できることは
ないかと
思いました。

「食べ物をのこさない」
とか、

「いらない、
食べないものは
買わない」とかです。

いつかは、
世界全員が

食べ物を
食べれるように
なればいいと思いました。

校長室に届いた手紙
4年



横浜市立豊田小学校

子どもたちは、
今の時代を鋭く感じ取りながら、

自己と向き合い、
常に未来に生きています。

希望の大空へ

横浜市立豊田小学校

豊田小「国際ロード」



希望とともににつくりだす

横浜市立豊田小学校

豊田小 「国際ロード」

希望とともににつくりだす
横浜市立豊田小学校

TICAD
YOKOHAMA
2019

アフリカと横浜、あふれる力でともに
第7回アフリカ開拓祭
2019.8.28.